

健康な一生データで構築

弘大など 都内でフォーラム

弘前大学の健康寿命延伸研究「弘大COI(セントアイノベーション)」の成果などを学ぶ「ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2021」が8日、東京の一橋講堂で開かれた。中路重之COI拠点長は講演で、本年度が最終年度同COIの今後を説明。データを用い人々が健康な一生を送る「ヘルスジャーニー」(健康物語)



弘大COIの今後について語った中路氏
—東京都千代田区

構築を進めるとした。弘大、県、弘前市の主催。中路氏は8年余にわたった同COIについて、弘前市

岩木地区で行うプロジェクトでのビッグデータ蓄積などをプラットフォームに産学官と連携したと指摘。「岩木プロジェクトがわれわれのど真ん中。データ活用で研究の芽が生まれ、広がる『弘前方式』を提唱していく」と述べた。

「ポストCOI」については、健診などによる現実の健康データをビッグデータとデジタルで結び、健康状況の将来予測などを示す「生涯PHR」(パーソナル・ヘルス・レコード、個人の医療・介護・健康データを)を構築し、ヘルスジャーニーを幸せにできると強調。「ポストCOIは世界へ向かう」とした。フォーラムにはオンラインも含め約1300人が参加。開会に先立ち、弘大の福田眞作学長、三村申吾知事らがあいさつした。

(若松清巳)